

金属分析技術でものづくりをサポート

成分分析で研究開発・品質管理やクレーム対策を支援

- 金属材料・製品の信頼性・安全性に不可欠な分析データを提供
- ppt から%オーダーまでの広範な濃度に対応した定量分析技術
- 破断・摩耗のトラブルなど複雑化、高度化する相談にも多方面から対応

研究目的・内容

大阪産業技術研究所では、企業における研究開発や品質管理、クレーム対策などの支援を行うために、金属材料・製品のX線分析や、極微量(pptオーダー)から高い濃度(%オーダー)までの信頼性の高い定量分析を、依頼試験・オーダーメイド試験等として行っています。併せてそれらに関する指導・相談にも対応しています。

また、トラブルの解決にあたっては、成分分析だけではなく、組織観察、硬さ測定、破断面観察などと連携して原因究明にあたっています。是非ご活用ください。

期待される用途

開発製品の添加成分確認、納入材料の品質管理、鋼材の焼き入れ不良、破損・摩耗部品の異材の疑いなど、目的、試料形状、素材の種類など、条件に応じて、保有している様々な機器を用いた成分分析による技術支援が可能です。



スパーク放電発光分析装置



ICP発光分析装置



ICP質量分析装置

キーワード

金属分析、製品、品質管理、トラブル解決

大阪産業技術研究所

金属表面処理研究部（和泉センター）

塚原 秀和

連絡先：和泉センター技術相談窓口 izumi2525@orist.jp

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任

